

トヨタ、新型カーリーナを発表

—— いきいきとしたライフスタイルの象徴

“スポーティ&スタイリッシュ セダン” 誕生 ——

—— 「先進性」と「クルマの完成度」の追求 ——

トヨタ自動車(株)は、小型乗用車カーリーナ4ドアセダン、カーリーナサーフ(ワゴン) およびカーリーナバンをフルモデルチェンジし、5月12日より全国のトヨタ店を通じて一斉に発売した。



カーリーナ4ドアセダン 1600Sリミテッド (AT171-CEMSK) '88.5



カーリーナサーフ 1800SX (ST170G-CWMXM) '88.5

1. 新しいカリーナ4ドアセダンの概要は以下の通りである。

新型カリーナ4ドアセダンの開発にあたっては、現代のヤングファミリーをはじめ幅広い層の共感を得るクルマとするため、

- ① さわやかな若々しさを感じさせるニュートレンドフォルムの創造
- ② “Fun To Drive”を満喫させる走りの基本性能の進化
- ③ 居住性・快適性といったファミリーセダンとしての完成度の追求

の3点を主な狙いとした。

この狙いのもとに開発された新型カリーナ4ドアセダンは、現代のいきいきとしたライフスタイルを象徴する車——“スポーティ&スタイリッシュセダン”として誕生した。

具体的な特長は以下の通り。

ニュートレンドフォルムの創造

▷カーデザインの新たな潮流を主張する“小粋”でスポーティなスタイル

- ワイド感あるフロントビュー・リヤビューおよびウエッジ基調のサイドビューを基本に、空力的洗練度を高めた曲面により、若々しくスポーティなフォルムを形作っている。
- フロントからサイド、リヤへと続くラインは、量感あふれる立体造形を基本にしつつ、ダイナミックに張りつめた曲面を持たせることにより、カーデザインの新たな潮流を主張する“小粋”なスタイルを表現している。

走りの基本性能の進化

- ▷“足のいい奴”にふさわしいスポーティな走りを実現する、フロント&リヤのフルスタビライザー付の新設計四輪独立懸架、クイックレスポンスのステアリング
- ▷前後サブフレームの採用、ボデーの軽量化・高剛性化
- ▷ガソリンエンジンオールツインカムラインアップによる軽快かつ余裕ある動力性能

[シャシー & ボデー]

- サスペンションは、カリーナE Dやセリカで評価の高いトヨタのストラット式四輪独立懸架方式を基本に、さらに最適チューニングし洗練度を高めるとともに、**全車にフロント&リヤのフルスタビライザーを採用**。クイックレスポンスのステアリングの採用とあわせて、低速から高速までドライバーの意志に忠実に反応するきびきびとしたハンドリングと優れたコーナリング性能を実現している。
- 加えて、**四輪ESC**、**TEMS**を新設定し、足廻りを一層高度化させている。
- 前後サスペンション取付用のサブフレーム採用やボデーの軽量化・高剛性化などにより、乗り心地・静粛性および操縦性・走行安定性といった走りの基本性能を一段と進化させている。

[エンジン]

- エンジンには、先進的ツインカムエンジンとして評価の高い4S-F i型(1.8ℓ)、4A-FE型(1.6ℓ)、5A-F型(1.5ℓ)のハイメカツインカムエンジンとスポーティツインカムエンジン4A-GE型(1.6ℓ)を搭載。

ガソリンエンジンをすべてツインカム16バルブとした画期的なラインアップにより、行動的なライフスタイルにこたえる軽快かつ余裕ある動力性能と低燃費を実現している。

- また、ディーゼルエンジンの2C型(2.0ℓ)も出力・トルクを向上するとともに、振動・騒音の低減をはかっている。

ファミリーセダンとしての完成度追求

▷ヤングファミリーをはじめ幅広い層の共感を得る、広々として快適な室内空間、使い勝手の良いラゲージスペース

- 室内幅の拡大(+20mm)や鞍形のフロントシートバック採用による後席レッグスペースの拡大(+30mm)、豊富な収納スペースなどにより、広々とした室内スペースを実現している。
- トランクルームの容量を拡大するとともにバンパーのすぐ上から開くようにし、ファミリーユースにも適した使い勝手の良いラゲージスペースを確保している。
- 視認性・操作性を向上させるとともに質感を高めた新意匠の Cockpitタイプインストルメントパネルの採用、空調性能の向上などにより、使い易く快適な居住空間を造りあげている。

▷先進的かつ実用的な新機構・新装備

- 新型カーリーナ4ドアセダンには以下の新機構・新装備等をグレードに応じて設定している。

四 輪 E S C	滑りやすい路面等における制動時の安定性や操舵性を確保するアンチロックブレーキシステム
T E M S	ショックアブソーバー減衰力を自動的に切り換え、快適な乗り心地と優れた操縦性・走行安定性を実現
新バックソナー	小型化した超音波センサーにより後方障害物への接近をブザーで知らせるシステム
ワイヤレス ドアロック	キー・プレートのスイッチ操作により、離れたところからドアのロック・アンロックが可能
6：4分割可倒式 リヤシート	様々な用途に応じたリヤシートとトランクルームの多彩な活用が可能
半ドア ウォーニングブザー	ドアの開放・半ドア状態で走行しないようブザーで警告
フレッシュフィーリング ヒーターシステム	暖房時にも室内上部に冷たい外気の導入を可能にした快適な空調システム
フ ォ グ ラ ン プ	フロントマスクにフィットする、バンパー組み込みタイプのフォグランプ
チルト&スライド ムーンルーフ	後端のチルトアップで車室内の換気もできるガラス製スライディングルーフ
雪 国 仕 様	積雪地域での使用にあわせ、強化型のワイパー、大容量バッテリーなどを採用

また、オートマチックトランスミッションの誤操作防止装置として、シフトロックシステム（「キー・インターロック付シフトロック装置」と「シフト・レバー後退位置警報装置」）をオートマチックトランスミッション車全車に採用している。

「キー・インターロック付シフトロック装置」

ブレーキを踏んだ時のみ、「P」位置から他の位置へのシフトが可能。

また、「P」位置の状態でのみ、イグニッションキーを抜くことが可能。

「シフト・レバー後退位置警報装置」

「R」位置であることをブザーで警報。

2. 新しいカーリーナサーフ、カーリーナバンの概要は以下の通りである。

- ▷カーリーナサーフ、カーリーナバンともにFF化・ワイドトレッド化をはかると同時に、サーフには4S-Fi型、5A-F型、バンには3E型ガソリンエンジン（1.5ℓ、12バルブ）、2C型ディーゼルエンジンを新搭載し、走行性能の大幅な向上をはかっている。
- ▷荷室幅の拡大や開口部下端を下げたことにより、ラゲージスペースの使い勝手を向上させている。
- ▷カーリーナサーフには、カラードバンパー等を採用しスタイリッシュな外観とするとともに、非使用時の格納スペースを備えたリヤヘッドレストやロール式トノカバー等を設定し、ハイグレードなワゴンとしている。
- ▷カーリーナバンについても、全車にラジアルタイヤを採用するとともに、パワーステアリングを設定し、機能の充実をはかっている。

【販売概要】

- | | |
|------------|---|
| 1. 販売店 | 全国のトヨタ店
(東京地区の4ドアセダン、サーフは東京トヨペットおよび東京トヨタで販売。バンは東京トヨタで販売)
(大阪地区は、大阪トヨペットで販売) |
| 2. 当面の月販目標 | 4ドアセダン、サーフ 10,000台
バ ン 1,500台 |
| 3. 店頭発表会 | 5月21日(土)、22日(日) |

以 上

《4ドアセダン車両概要》

1. スタイリング

▷ウエッジを基調に、ダイナミックに張りつめた丸みを持った立体造形、空力的洗練度を高めた曲面処理により、コンパクトなボデーの中に力強い躍動感と高品質感を表現し、カーデザインの新たな潮流を主張するニュートレンドフォルムを創造している。

▷特に、ヘッドランプとターンシグナルランプの一体化によるシンプルなフロントマスク、ボデー全幅にわたる一体化したリヤコンビネーションランプとアクリルガーニッシュを採用したリヤビューがワイド感を強調し、“走り”を予感させるスポーティなスタイルを表現している。

2. エンジン

▷4S-Fi型、4A-FE型、5A-F型の3機種のハイメカツインカムエンジンを新搭載し、従来から好評のスポーティツインカムエンジン4A-GE型を加えて、ガソリンエンジンをすべて先進的なツインカム16バルブとした画期的なラインアップとしている。

▷ツインカム16バルブの余裕ある出力性能により、スポーティなセダンにふさわしい優れた動力性能と同時に低燃費・静粛性を両立している。

▷また、ディーゼルエンジンの2C型(2.0ℓ)も出力性能の向上をはかるとともに、振動・騒音の低減および信頼性の向上をはかっている。

◎エンジン概要

	型 式	排気量 (cc)	最高出力[ネット] (ps/rpm)	最大トルク[ネット] (kg・m/rpm)	※1 10モード燃費 (km/ℓ)
ハイメカ ツインカム	4S-Fi	1,838	105/5,600	15.2/2,800	13.6
	4A-FE	1,587	105/5,800	14.0/4,800	14.0
	5A-F	1,498	85/6,000	12.5/3,600	16.4
スポーティ ツインカム	4A-GE	1,587	120/6,600	14.5/5,200	12.4
ディーゼル エンジン	2C	1,974	73/4,700	13.5/3,000	※2 32.5

※1. 運輸省審査値 (M/T車、 \oplus 慣性重量1.25t、5A-Fは1.0t)

※2. 60km/h定地走行燃費 (運輸省届出値、M/T車)

3. シャシー & ボデー

▷ストラット式四輪独立懸架を基本に、トヨタ独自のサスペンションCADシステム「CASTAC（キャストック）」を駆使し、ジオメトリーをさらに改善するとともに、バネ定数、ショックアブソーバー減衰力などをカーナ用に最適チューニングした先進のサスペンションシステムを新設計している。

※CASTAC—Computer Aided System of Toyota Advanced
Chassis Design の略

▷最適チューンにより基本性能を進化させるとともに、フロントゼロキャスター（パワーステアリング装着車は0.5度）による操舵力の低減で可能になったクイックレスポンスのステアリングや、全車フロント&リヤのフルスタビライザーの採用により、軽快なハンドリングとコーナリング性能の向上を実現している。

▷前後サスペンション取付用のサブフレームを採用するとともに、高張力鋼板の大幅採用や骨格系結合部の重点補強により、軽量化と剛性アップを同時に実現した先進ボデーを新設計している。加えて、シャシーとボデーをバランス良くマッチングさせることにより、快適な乗り心地・静粛性と優れた操縦性・走行安定性を実現している。

4. 室内空間・ラゲージルーム

▷室内全幅の拡大（+20mm）や鞍形フロントシートバックによる後席レッグスペースの拡大（+30mm）など、居住性を重視した先進のパッケージング思想により、広々とした室内空間を確保している。

▷加えて、有効な収納スペースを豊富に採用し、実用スペースをさらに向上させている。

▷ドライバー席からのリーチを優先したコックピットタイプのインストルメントパネルの採用や、メーター・インジケーター類、各種操作系の形状・配置の改善により、視認性・操作性を大幅に向上させている。

▷質感の高い新意匠のトリムおよびパネル表面処理や、連続感のあるトリム・ガーニッシュ類、さらに室内全体の上品なカラーコーディネートなど、

細部への気配りから全体の調和まで徹底的に練り込み、高級感を向上させている。

- ▷空調システムには、暖房時にも頭部に新鮮な外気を導入する快適なフレッシュフィーリングヒーターシステムを採用。また、吹き出し口の位置を最適にするとともに、無段階に回転数が変化するフロアの採用（オートエアコン）で静粛性を高め、快適な空調を実現している。
- ▷バンパーのすぐ上から開く大容量のトランクルーム（実用容量512ℓ、VDA規格）や6：4分割可倒式リヤシートにより、実用性の高いラゲージスペースを確保している。

《サーフ、バン車両概要》

- ▷カーリーナサーフ、カーリーナバンともにFF化・ワイドトレッド化をはかると同時に、カーリーナサーフには4S-Fi型（1.8ℓ）、5A-F型（1.5ℓ）の2種類のハイメカツインカム、カーリーナバンには3E型ガソリンエンジン（1.5ℓ、12バルブ）、2C型ディーゼルエンジン（2.0ℓ）を搭載し、走行性能の大幅な向上をはかっている。
- ▷荷室幅の拡大（+45mm）、特にリヤホイールハウス間のフロア幅の大幅拡大（+140mm）、およびリヤ開口部の高さを下げることにより、積載性を向上させている。
- ▷カーリーナサーフのリヤシートには、シートクッションを引き起こし、ヘッドレストを収納してシートバックを倒すことにより、フラットで広々としたラゲージスペースを生み出す分割可倒式リヤシートを採用。ロール式トノカバーとあわせてワゴンとしての実用性を格段に向上させている。
- ▷カーリーナバンについても、全車にラジアルタイヤを採用するとともに、パワーステアリングを新設定し、操縦性・走行安定性を向上させている。

以上

◎主要車種標準価格一覧表

(応急タイヤ、標準工具一式付、単位：千円)

車種	グレード	エンジン型式	トランスミッション	東京	名古屋	大阪
4 ド ア セ ダ ン	1500カスタムDX	5A-F	4速マニュアル	1,034	1,029	1,034
	1500DX	5A-F	4速マニュアル	1,102	1,097	1,102
	1500SG	5A-F	4速マニュアル	1,198	1,193	1,198
	1500SGエクストラ	5A-F	5速マニュアル	1,294	1,289	1,294
	1500ジュン	5A-F	5速マニュアル	1,363	1,358	1,363
	1500SE	5A-F	5速マニュアル	1,425	1,420	1,425
	1600S	4A-FE	5速マニュアル	1,368	1,363	1,368
	1600Sリミテッド	4A-FE	5速マニュアル	1,483	1,478	1,483
	1800SGエクストラ	4S-Fi	5速マニュアル	1,374	1,369	1,374
	1800SE	4S-Fi	5速マニュアル	1,551	1,546	1,551
	1800SEエクストラ	4S-Fi	5速マニュアル	1,686	1,681	1,686
	2000SG	2C(ディーゼル)	5速マニュアル	1,382	1,377	1,382
	2000SE	2C(ディーゼル)	5速マニュアル	1,631	1,626	1,631
1600Gリミテッド	4A-GE	5速マニュアル	1,806	1,801	1,806	
サ ー フ	1500SV	5A-F	5速マニュアル	1,254	1,249	1,254
	1800SX	4S-Fi	5速マニュアル	1,523	1,518	1,523
バ ン	1500STD	3E	4速マニュアル	967	961	967
	1500DX	3E	4速マニュアル	1,014	1,008	1,014
	1500SG	3E	4速マニュアル	1,114	1,108	1,114
	2000DX	2C(ディーゼル)	5速マニュアル	1,182	1,176	1,182
	2000SG	2C(ディーゼル)	5速マニュアル	1,319	1,313	1,319

◎掲載写真
(除くオプション)

◎掲載写真
(除くオプション)

- ※1. 2ウェイOD付4速フルオートマチック車は4速マニュアル車に比べ109千円高。
- ※2. 5速マニュアル車は4速マニュアル車に比べ24千円高。
- ※3. 2ウェイOD付4速フルオートマチック車は5速マニュアル車に比べ85千円高。
- ※4. ECT-S車は5速マニュアル車に比べ105千円高。
- ※5. 2ウェイ3速フルオートマチック車は4速マニュアル車に比べ68千円高。